

<課題研究講演会>

10月1日、2年生を対象に、東北大学大学院生命科学研究科の酒井聡樹先生による課題研究講演会がありました。

「これから研究発表をする仙台一高生のために」と題して、今後、私たちがポスター製作や研究発表を行うにあたって必要な知識を教えてくださいました。

<スライド制作のポイント>

タイトルのポイント…どういう問題をどうやって解決しようとするのかを伝える!

- ・タイトルの役割…論文の目的を聴衆に伝えること
→間違っても、面白味を求めてふざけたタイトルをつけてはいけない!

序論のポイント…何をやるのか、どうしてやるのかを詳しく書く!

- ・序論に含める項目…何を前にして、どういう問題に取り組むのか、**取り組む理由**、どういう着眼で
※取り組む理由は、“興味を持ったから”では**研究する意義を認めてもらえない**
→聴衆に興味を持ってもらえるような理由にする

レイアウトのポイント…大切なことを上に書く ゴシック体を使う

- ・「まとめ(含む結論)」を上にも! (下に書くと聴衆側からすると見にくくなる)
- ・方法、結果、根拠などに対応をつける
(方法①, 方法② 結果①, 結果② 根拠①, 根拠②…という風に番号をふると良い)
- ・明朝体はくっきりしていないためポスターでは見にくい! →**ゴシック体**を使うようにする
- ・ポスターは縦2列に構成し、上部にタイトルと結果が来るように



以下、生徒の感想を一部抜粋して掲載いたします。

着眼点はその研究の売りなので、必ず訴える必要があると分かった。

今まで序論では疑問点と研究内容を淡々と書き連ねていただけだったので、次回は聴衆の興味を引くものにしたい。



自分は自分の研究内容を分かっている言葉足らずになりがちなので、第三者の視点からどのように見えるのか考えるようにしたい。

数値化することの難しい研究を行っているときポスターなどが文字で埋まりがちになるので、今回いろいろポイントを意識してまとめたい。

研究の初期の段階で行うべきプロセスが分かったので、後輩にもレクチャーしていきたい。

ポスターは文の内容だけでなく、項目の配置についても考えて制作したい。

絵的で簡潔な文章を書くことを心掛けたい。

聴衆をに興味を持たせるような研究を行うことで初めて聴衆からの評価がもらえ、研究の価値が生まれるのだと分かった。

酒井先生の発表自体にも意識すべきポイントが散りばめられており、内容だけでなく発表自体からも学ぶことが多かった。

同じような研究がいくつもある中でオリジナリティーを生み出せるのはタイトルや序論なので、自分たちの研究が選んでもらえるようなものにしたい。

編集後記

この講演会で、スライド作成のための様々なヒントを得られたのではないのでしょうか。12月19日の口頭発表会が多く各班にとっての集大成となるので、この発表に生かせるように、今後の活動も計画を立てて進めていきましょう。